

見島次郎は 見た!

特別展

— オリエント文化
東西の架け橋 —

2014年11月28日(金)

— 2015年1月25日(日)

9時~17時(入館は16時半まで)
毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合は開館し、直後の平日に休館)
年末年始休館(12月28日~1月5日)

岡山市立オリエント美術館

岡山市北区天神町9-3-1 ☎086-232-3663



青釉獣形双把手壺
12世紀後半-13世紀前半 イラン
大原美術館



白地藍彩芙蓉手盤
17-18世紀 イラン
愛知県陶磁美術館

大原美術館に眠る

オリエントの美

- 入場料：【入場券】一般 1,000円(前売 800円)、
高年生 / 満 65 歳以上 700円、小中生 500円
障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方 1 名は無料
- チケット販売：ローソンチケット Lコード 前売券…65123 当日券…65155
チケットぴあ Pコード 766-472
その他 各プレイガイドや岡山市立オリエント美術館にて販売

- 主催：岡山市立オリエント美術館、OHK 岡山放送
- 特別協賛：SEKISUI HOUSE 積水ハウス株式会社
岡山支店 倉敷支店 岡山シャーウッド住宅支店
- 特別協力：大原美術館
- 後援：岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、
岡山市連合婦人会、岡山市 PTA 協議会、
公益社団法人岡山県文化連盟、岡山オリエント協会
岡山市立オリエント美術館友の会、山陽新聞社、
朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、
毎日新聞岡山支局、産経新聞社岡山支局、
中国新聞備後本社、岡山リビング新聞社、
高松リビング新聞社、FM岡山、oniビジョン



青釉双魚文皿
14世紀 エジプト
大原美術館



祠堂形胸守り(ヘクトラル)
新王国第19王朝 エジプト
大原美術館

見島虎次郎は

特別展

—オリエント文化—

東西の架け橋

“日本初”の エジプト・ペルシア展 大正時代に倉敷で開催!!

児島虎次郎(1881-1929年)は、日本初の西洋近代美術館である大原美術館の西洋絵画を収集した洋画家としてよく知られています。しかし、児島が西洋絵画以外に、オリエント考古美術品や中国陶磁器などを収集していたことを知る人はそれほど多くないでしょう。

1920年代初頭のパリで収集されたこれらの貴重な品々は、早くも1923(大正12)年、倉敷の小学校で公開されました。これは我が国の一般人が西アジアやエジプトのやきもの文化に触れた最初の機会です。1924(大正13)年、オリエント考古美術品を集めた特別展「外邦古陶器陳列」(於:恩賜京都博物館、現京都国立博物館)は陶芸家だけでなく図案家など、当時のクリエイターたちの間で大きな反響を呼びました。展示された作品の半数以上が大原コレクションだったことは、児島収集品の質の高さを物語るエピソードといえるでしょう。

本展では“日本初”の展覧会を彩った貴重な品々をはじめ、美術収集家として知られる公爵細川護立らの収集品(永青文庫蔵)をはじめ、大正時代に我が国へ伝えられたオリエント考古美術品の世界を紹介します。戦後の考古学研究的進展で明らかとなった、オリエント考古美術品に秘められたメッセージとは?

広大なユーラシア大陸に繰り広げられた東西の文化交流の壮大なストーリーをひもときます。



東西文物文着物
1915年 デザイン: 児島虎次郎
個人蔵



青花牡丹唐草文八角燭台
明 永楽 出光美術館



切子ガラス碗
6世紀 イラクまたはイラン
大原美術館



色絵司馬温公文八角皿
江戸時代 日本 有田
出光美術館



色絵司馬温公文八角皿
18世紀 ドイツ マイセン
出光美術館

シンポジウム 「児島虎次郎の見た世界」

12月20日(土) 午後1時30分から
参加料/500円(友の会会員は300円) ※要予約

- 「オリエント考古美術受容史の視点から」(仮)
四角 隆二 (岡山市立オリエント美術館副主査学芸員)
- 「フスタート出土陶片の視点から」(仮)
榎屋 友子 (東京大学教授)
- 「貿易陶磁研究史の視点から」(仮)
弓場 紀知 (兵庫県立陶芸美術館副館長)

討議(司会:谷一尚)



岡山空港からリムジンバス40分、JR岡山駅東口から
① 路面電車: 「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ
② 徒歩: 橋太郎大通りを東へ約15分
※ 当館には来館者用駐車場はありません。市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。